

広島市植物公園

見どころ案内

フジバカマ (キク科)

中国原産の多年草。秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲き始めました。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。

ミヤマガマズミ (レンプクソウ科)

日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

ポポー (バンレイシ科)

北米産の落葉高木。寒さに強いので、屋外でも育ちます。今、緑色の果実を上部分につけています。

スイフヨウ (アオイ科)

八重咲きのポリュームのある花で、純白に近いものからピンク色のもの、白とピンクが半分半分のものなど、色々な花が見られます。

アイ (タデ科)

古くから青色(藍色)の染料として利用されてきましたが、今ではほとんど栽培されなくなりました。ピンクの小さな花を近くでご覧ください。

ロブスタコーヒーノキ (実) (アカネ科)

アフリカ原産の低木で、赤い実の中にある種子を煎って利用します。アラビカ種より苦味が強く、缶コーヒーやインスタントコーヒー、エスプレッソ用などに、アラビカ種とブレンドして利用します。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)  
品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

シュウメイギク (キンポウゲ科)

名前にキクとついでいますがアネモネの仲間です。花びらのように見えるのはガクで、花びらはありません。花の進化園でも咲いています。

ディモルフォル  
キス・ローウイ (ラン科)

ボルネオ原産の着生ランです。花茎は2mにも垂れ下がり、株元と花茎の先で全く違う色・模様の花が咲きます。

ジャスミンナムレックス (モクセイ科)

ジャスミンの仲間ですが、この花には芳香はありません。一見雄しべも雌しべも見当たりませんが、よく見ると細い花筒の中に雄しべが潜んでいます。

特別企画展 コーヒー&紅茶展

11月17日(月)まで  
栽培の歴史、産地の紹介、そして実物展示、また抽出機器、製品など、コーヒーや紅茶に関するいろいろな展示をしています。  
[展示資料館1階展示室にて]

